

評価の目安

単元	教材名	評価規準		A評価の目安例	B評価の具体例 ※記述＝ノート・ワークシート等を含む	C評価への支援例
2	枕草子	知識・技能	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。(1)エ)	古文の言葉や文法に注意して内容を的確に読み取り、語彙を豊かにし、これを活用している。	古文の言葉や文法に注意して内容を読み取り、語彙を豊かにしている。 [行動の観察]	本文を通読し、教科書「古文を読むために④」などを参考に、助動詞の意味と用法の基本を理解させ、本文の内容を確認する。
			古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ)			
			古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。(2)イ)			
		思考・判断・表現	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(Bア)	叙述を基に内容を適切に読み取り、筆者の美意識や機知について理解を深め、自分の考えをまとめている。	叙述を基に内容を読み取り、筆者の美意識や機知について理解している。 [記述の確認]	教科書「言語文化の扉 古典の四季・美意識」などを参考に、本文の叙述から筆者の美意識や機知について考えさせる。
			作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(Bイ)			
		主体的に学習に取り組む態度	文章の意味は文脈で形成されること、文語のきまり、文章の歴史的・文化的背景について進んで理解し、文章に表れているものの見方を捉えて粘り強く内容を解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論しようとしている。	文章の意味は文脈の中で形成されることに理解を深め、文章に表れているものの見方を的確に捉えて内容を適切に解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論し、他者との交流をとおして、自分の考えを深めている。	文章の意味は文脈の中で形成されることを進んで理解し、文章に表れているものの見方を捉えて内容を解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論しようとしている。 [行動の観察]	教科書「学びを広げる」について、第一〇段と第一段の共通点や相違点に注意しながら、自分自身が筆者になったつもりで読み、なぜそのように受けとめたのかを考えるよう指導する。
	徒然草	知識・技能	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。(1)エ)	古文の言葉や助動詞の用法などに注意して内容を適切に読み取り、文章にこめられた筆者のものの見方や思いを的確に捉えている。	古文の言葉や助動詞の用法などに注意して内容を読み取り、文章にこめられた筆者のものの見方や思いを捉えている。 [記述の確認]	本文を通読し、教科書「古文を読むために④」などを参考に、助動詞の意味と用法の基本を理解させ、本文の内容を確認する。
			古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ)			
			我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解している。(2)カ)	古典作品を読み比べることで日本の言語文化への理解を深め、古典を読むことの意義や効用について理解し、これを活用している。	古典作品を読み比べることで日本の言語文化への理解を深め、古典を読むことの意義や効用について理解している。 [行動の観察]	教科書「学びを広げる」について、第一〇段と第一段と比較し、筆者の受け止め方の違いについて話し合う。
		思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(Bア)	文章の展開を叙述を基に的確に読み取り、文章に表れている筆者のものの見方、考え方を適切に捉え、自分の考えをまとめている。	文章の展開を叙述を基に的確に読み取り、文章に表れている筆者のものの見方、考え方を捉えている。 [記述の確認]	教科書の各「課題」について、それぞれ文章の大意をつかみながら、筆者の思いや考えについて考えさせる。
			「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(Bイ)			
		主体的に学習に取り組む態度	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(Bオ)	古典作品を読み比べて文章の展開や表現の仕方について適切に評価し、自分の考えをまとめている。	古典作品を読み比べて文章の展開や表現の仕方について評価している。 [記述の確認]	教科書「学びを広げる」について、第一〇段と第一段の共通点や相違点を指摘させ、筆者の美意識や無常観について考えさせる。
			文章の意味は文脈で形成されること、文語のきまり、読書の意義と効用について進んで理解し、文章に表れているものの見方を捉えて粘り強く内容を解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論しようとしている。	文章の意味は文脈の中で形成されることに理解を深め、文章に表れているものの見方を的確に捉えて内容を適切に解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論し、他者との交流をとおして、自分の考えを深めている。	文章の意味は文脈の中で形成されることを進んで理解し、文章に表れているものの見方を捉えて内容を解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論しようとしている。 [行動の観察]	教科書「学びを広げる」について、第一〇段と第一段の共通点や相違点に注意しながら、自分自身が筆者になったつもりで読み、なぜそのように受けとめたのかを考えるよう指導する。